



## 平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月11日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2292 URL <http://www.sfoods.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 真之助  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役 管理本部長（氏名） 安岡 信幸（TEL）0798(43)1065  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 平成25年10月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	81,438	12.9	2,515	△2.1	2,775	1.0	1,466	14.1
25年2月期第2四半期	72,120	8.2	2,570	48.6	2,747	40.7	1,284	—

（注）包括利益 26年2月期第2四半期 1,559百万円（6.1%） 25年2月期第2四半期 1,470百万円（267.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	52.36	—
25年2月期第2四半期	45.88	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	78,877	41,561	47.4
25年2月期	72,224	40,631	50.3

（参考）自己資本 26年2月期第2四半期 37,414百万円 25年2月期 36,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
26年2月期	—	13.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	155,000	4.7	5,200	0.6	5,600	0.1	2,600	3.7	92.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料の4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年2月期2Q	32,267,721株	25年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	4,263,031株	25年2月期	4,262,084株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年2月期2Q	28,005,066株	25年2月期2Q	28,007,217株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中ではありません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 企業結合等関係	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、6、7月度の消費者物価指数が前年比プラスに転じたこと、失業率が3%台まで改善したことなど、緩やかに好転しているように見られます。

しかしながら、当食肉業界においては、原材料費の高騰や円安の進行などのコストアップ要因により利益率の低下を招き、厳しい経営環境にさらされました。

このような経営環境のもと、当社グループは、低成長の経済環境に適合した営業体制の構築と食肉の生産から小売・外食までの一貫流通の推進により、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、引き続き生産事業の拡充に取り組んでおり、豚については生産事業・設備の規模拡大に着手しております。牛については平成24年1月に初めて神戸牛を海外に輸出し、本年5月にはタイ、6月にはシンガポールへの輸出を開始したことで、輸出国(地域)は5カ所となりました。また、7、8月には3年半振りにテレビCMを投入し、こてっちゃんの拡販キャンペーンを後押ししました。

食肉等の小売事業においては、新規ディベロッパーとの取り組みによる出店や既存店活性化活動の継続、提案型販売の強化等を進めました。

食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーンの競争力向上のための施策を実施し、新規顧客開拓及び既存顧客との深耕取引等に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高814億3千8百万円(前年同四半期比12.9%増)、営業利益25億1千5百万円(前年同四半期比2.1%減)、経常利益27億7千5百万円(前年同四半期比1.0%増)、四半期純利益14億6千6百万円(前年同四半期比14.1%増)となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は669億6千3百万円(前年同四半期比16.4%増)、セグメント利益は23億5千3百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

## ②食肉等の小売事業

売上高は98億5千7百万円(前年同四半期比2.8%減)、セグメント利益は3億8千5百万円(前年同四半期比16.4%減)となりました。

## ③食肉等の外食事業

売上高は37億8千9百万円(前年同四半期比5.6%増)、セグメント利益は2億5千5百万円(前年同四半期比77.7%増)となりました。

## ④その他

売上高は8億2千8百万円(前年同四半期比4.9%減)、セグメント利益は4千2百万円(前年同四半期比92.0%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて66億5千3百万円増加し、788億7千7百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権の増加及びたな卸資産の増加によるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて57億2千3百万円増加し、373億1千6百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務が増加したこと及び借入金が増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて9億2千9百万円増加し、415億6千1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて21億3千7百万円が減少し、147億1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、21億5千3百万円の支出（前年同四半期は1億2千8百万円の支出）で、主な減少要因は売上債権の増加60億1千3百万円、たな卸資産の増加16億7千9百万円及び法人税等の支払額14億7千9百万円であります。一方、主な増加要因は税金等調整前四半期純利益27億7千1百万円、減価償却費8億5百万円及び仕入債務の増加30億2千万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、24億2千1百万円の支出（前年同四半期は12億8千9百万円の支出）で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出24億9千7百万円及び投資有価証券の取得による支出15億9千8百万円であります。一方、収入の主なものは投資有価証券の売却による収入16億8千9百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、23億8千3百万円の収入（前年同四半期は9億円の収入）で、収入の主なものは短期借入金の純増額10億8千万円及び長期借入れによる収入28億4千万円であります。一方、支出の主なものは長期借入金の返済による支出9億円及び配当金の支払額3億3千5百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期連結業績予想につきましては、本年4月12日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,889	15,747
受取手形及び売掛金	13,727	19,820
商品及び製品	6,369	7,354
仕掛品	2,609	3,019
原材料及び貯蔵品	909	1,221
その他	1,611	1,582
貸倒引当金	△127	△176
流動資産合計	42,991	48,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,467	19,880
減価償却累計額	△11,612	△11,871
建物及び構築物(純額)	6,854	8,009
土地	9,172	9,895
その他	13,747	13,778
減価償却累計額	△9,826	△9,983
その他(純額)	3,920	3,795
減損損失累計額	△611	△670
有形固定資産合計	19,336	21,029
無形固定資産		
のれん	42	36
その他	217	203
無形固定資産合計	259	240
投資その他の資産		
投資有価証券	6,362	5,872
その他	3,512	3,445
貸倒引当金	△238	△279
投資その他の資産合計	9,636	9,038
固定資産合計	29,232	30,308
資産合計	72,224	78,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,552	12,587
短期借入金	4,007	5,097
未払法人税等	1,416	1,072
賞与引当金	609	609
その他	4,398	5,264
流動負債合計	19,984	24,630
固定負債		
社債	270	100
長期借入金	7,999	9,540
退職給付引当金	782	768
役員退職慰労引当金	159	141
その他	2,396	2,135
固定負債合計	11,607	12,685
負債合計	31,592	37,316
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	21,956	23,086
自己株式	△2,987	△2,988
株主資本合計	35,220	36,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,324	1,016
繰延ヘッジ損益	38	46
為替換算調整勘定	△258	2
その他の包括利益累計額合計	1,104	1,065
少数株主持分	4,307	4,146
純資産合計	40,631	41,561
負債純資産合計	72,224	78,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	72,120	81,438
売上原価	59,657	68,828
売上総利益	12,463	12,610
販売費及び一般管理費	9,892	10,095
営業利益	2,570	2,515
営業外収益		
受取利息	12	12
受取家賃	62	82
受取配当金	51	70
負ののれん償却額	28	28
その他	151	232
営業外収益合計	306	425
営業外費用		
支払利息	68	72
貸倒引当金繰入額	—	41
賃貸原価	29	35
その他	30	16
営業外費用合計	129	165
経常利益	2,747	2,775
特別利益		
投資有価証券売却益	10	—
負ののれん発生益	—	112
受取補償金	20	47
その他	11	5
特別利益合計	42	165
特別損失		
固定資産処分損	32	7
減損損失	19	120
店舗閉鎖損失	13	26
その他	0	15
特別損失合計	65	169
税金等調整前四半期純利益	2,724	2,771
法人税等	1,300	1,180
少数株主損益調整前四半期純利益	1,423	1,591
少数株主利益	138	125
四半期純利益	1,284	1,466

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,423	1,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	△307
繰延ヘッジ損益	△3	7
為替換算調整勘定	40	266
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	46	△31
四半期包括利益	1,470	1,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,327	1,427
少数株主に係る四半期包括利益	143	132

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,724	2,771
減価償却費	792	805
減損損失	19	120
のれん償却額	101	5
負ののれん償却額	△28	△28
負ののれん発生益	—	△112
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5	△13
受取利息及び受取配当金	△63	△82
売上債権の増減額(△は増加)	△3,848	△6,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,830	△1,679
仕入債務の増減額(△は減少)	2,712	3,020
その他	701	527
小計	1,293	△678
利息及び配当金の受取額	59	86
利息の支払額	△69	△81
法人税等の支払額	△1,411	△1,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	△128	△2,153
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△656	12
有形固定資産の取得による支出	△829	△2,497
無形固定資産の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の取得による支出	△503	△1,598
投資有価証券の売却による収入	746	1,689
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△58	—
子会社株式の取得による支出	—	△115
貸付けによる支出	△117	△127
その他	132	221
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,289	△2,421
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	384	1,080
長期借入れによる収入	3,050	2,840
長期借入金の返済による支出	△1,903	△900
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△335	△335
少数株主への配当金の支払額	△64	△64
その他	△229	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー	900	2,383
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	52
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△506	△2,137
現金及び現金同等物の期首残高	15,032	16,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,526	14,701

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	57,518	10,142	3,589	71,250	870	72,120	—	72,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,065	14	54	3,134	24	3,158	△3,158	—
計	60,583	10,157	3,643	74,384	894	75,279	△3,158	72,120
セグメント利益	2,462	460	144	3,067	21	3,089	△519	2,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△519百万円には、セグメント間取引消去△46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食肉等の製 造・卸売事 業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	66,963	9,857	3,789	80,610	828	81,438	—	81,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,210	30	78	3,319	67	3,386	△3,386	—
計	70,173	9,888	3,868	83,929	895	84,825	△3,386	81,438
セグメント利益	2,353	385	255	2,994	42	3,036	△520	2,515

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△520百万円には、セグメント間取引消去△12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△508百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売事業」及び「その他」において、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことにより減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売事業」8百万円、「その他」112百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「食肉等の製造・卸売事業」において、連結子会社株式の追加取得により112百万円の負ののれん発生益を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 企業結合等関係

重要な該当事項はありません。